

持ち主不明の落とし物

伊東 匠
ITO TAKUMI

年末のことである。実家の敷地に土嚢袋8つ分程の廃棄物が捨てられていた。袋が破れ、粉々になったがれき類が飛び出しているものもあったため、おそらくトラックの荷台から投げ落としたのだろう。

がれき類ということで、どのような業種から排出されたものかはある程度の推測できるが、それ以上の特定は難しい。もちろん土嚢袋には名前も書いていないため、「落とし物ですよ。」と、持ち主の元に返すことも出来ない。

再発防止のため、ホームセンターで購入したネットなどの材料を使い、お手製の柵を作ることになった。作業には数日を要したが、高さ2メートル長さ45メー

トル程のなかなか立派なものが出来上がった。柵の効果もあり、いまのところ再発はしていないとのこと。

私自身も柵作りや土嚢袋を運ぶ作業を手伝ったが、次の日は筋肉痛になるほどの重労働であった。捨てた人は軽い気持ちだったかもしれないが、捨てられた側の負担は軽くはない。身をもって感じる事ができた。

作業の結果不法投棄をされた廃棄物はなくなったが、そこには本来必要のなかった柵がいまも残っている。

編集後記

JWセンターでは、産業廃棄物処理業の労働災害の防止及び安全衛生の向上に資するため、視聴覚教材(ビデオ)を作成しホームページで公開することとしました。

今号では、関係の方々にお集まりいただき、各々のお立場における「安全衛生の取組」についてご紹介いただく座談会を開催しましたので、その模様をお伝えいたします。

また、「産廃クローズアップ」では株式会社富士クリーンの「縦型乾式メタン発酵施設」を取材した模様を紹介しております。

「行政のうごき」では、新潟県より公共関与での広域最終処分

場の整備等の取組のご紹介をいただきました。

「電子マニフェスト情報」では、7月1日から運用開始した現場登録支援機能について、ご案内しています。排出現場においてスマートフォンやタブレットを利用して簡便にマニフェストが登録できる機能となっております。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。

(菅野)

■本誌に関する連絡先:総務広報室(e-mail:jigy@jwnet.or.jp)

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下のURL)に掲載しています。本誌に関するご意見。ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JWセンター情報(季刊)VOL.19 NO.2 発行日:2019年7月16日発行 発行人:関 荘一郎

発行所:公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階

TEL:03-5275-7111 FAX:03-5275-7112 <https://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷:株式会社文洋社